



いばらきの味覚

ほしいも

ひたちなか市は、ほしいも生産高日本第一位。
厳選されたきつまいもをふっくらと蒸し、天日乾燥。
ビタミン B1、ビタミン C、カリウム等、
栄養価の高い成分がたっぷり。

主な内容

- ▼ 新春賀詞交歓会を開催しました
- ▼ 建設キャリアアップシステムについて
- ▼ 建災防茨城県支部の30年度上半期講習日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

若者から選ばれる 夢のある産業へ

平成30年新春賀詞交歓会を開催しました

本会は1月12日、(一財)茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合とともに、平成30年新春賀詞交歓会を水戸市内の水戸京成ホテルで開催しました。来賓や会員など約250人が出席し、働き方改革や生産性向上などが求められる時代の流れに適応し、若者から選ばれる夢のある産業として魅力を高められるよう、より一層の団結を誓い合いました。

賀詞交歓会の冒頭、岡部英男会長に代わりあいさつに立った石津健光副会長は「皆さまのおかげで去年は当協会の前身である茨城県土木建築請負業組合が結成されて節目の100年を迎えることができた」と感謝した上で、「これまでの100年という伝統を継承し、今後の100年を築いていくためには、従来の慣行を打破し、時代の流れに適応していくことが求められている」と指摘。

続いて、「次代を担う若い世代の人材確保に不可欠な働き方改革や、生産性向上のための新技術の導入、人材育成など、困難な課題に業界をあげて取り組まなければならない」と団結を呼び掛け、「引き続き会員企業の経営の安定に寄与するとともに、若者から選ばれる『夢のある産業』として魅力を高められるよう、精一杯努力してまいります」と決意を述べました。

その後、来賓各位がそれぞれ祝辞を披露。来賓紹介後には、高橋靖水戸市長の発声で出席者全員が乾杯し、本年のさらなる飛躍を誓い合いました。



議員や行政幹部、関係団体など約250人が出席しました



高橋水戸市長の音頭で乾杯し、本年の活躍を誓い合いました

団結強めて地域社会に貢献

ご来賓から祝辞を頂きました



菊地 健太郎 副知事

引き続き広域交通ネットワークなどのインフラ整備を進めます。建設業の皆さま方が果たされる役割は、これまで以上に重要なものになります。なお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



神田 裕 衆議院議員

本県の建設産業界の発展に貢献できるよう、諸先輩方のご指導をいただきながら、精一杯活動をしてまいります。



菊池 敏行 県議会議長

活力ある郷土茨城の実現に向け、皆さま方の果たす役割はますます重くなります。本年が明るく飛躍の年となることを祈念申し上げます。



岡田 広 参議院議員

災害に強い国土づくりは非常に重要な政策です。公共事業と一括りにするのではなく、人間が生きるために大切な防災・減災対策が必要だということを国民に訴えていきます。



海野 透 県議会議員

(自由民主党県支部連合会会長代行)

常陸那珂港から大宮・大子を抜ける県北の高規格道路の整備が実現してこそ、本当の意味での県土60分構想の実現になります。皆さまのご協力をいただきながら、インフラ整備に立ち向かっていきます。



上月 良祐 参議院議員

働き方改革や生産性向上は重要ですが、各企業にできることには限界があります。皆さま方にリスクが及ばないように、しっかり行政を叱咤激励してまいります。



田所 嘉徳 衆議院議員

地域の基盤整備や安全確保のために、皆さま方は大きな役割を果たしていらっしゃいます。本年もさらに元気に活躍し、地域の発展に貢献していただきたいと思っております。



佐藤 信秋 参議院議員

公共事業の量を確保し、働く人の賃金を上げて若者や女性が入ってこれるような建設産業にすることが発注者の役割です。チーム茨城の一員として、山積する課題に対応してまいります。



石川 昭政 衆議院議員

茨城国体や東京オリンピックなどの建設需要の高まりに的確に対応すべく、建設業界の皆さまと勉強しながら、国政に頑張りたいと思っております。



足立 敏之 参議院議員

建設産業の再生のためには、質の確保と量の確保が必要です。各施策の着実な遂行や予算確保に努めます。

賀詞交歓会
参加者の声

- ◆災害はいつ起こるか分からないもの。防災・減災対策がより一層進む年となることを期待している(県北)
- ◆週休2日制が叫ばれているが、業者の力だけでは限界がある。行政が指導し、より踏み込んでもらいたい(県央)
- ◆民間投資が堅調なので今年も活発な動きを期待したい。一方で、職人が東京に引っ張られているので、何とか食い止めたい(県南)

変化の時代到来
結束し乗り切る

- ◆圏央道の4車線化が決定し、地元は盛り上がっている。業界の皆が一致結束して変化の時代を乗り切りたい(県西)
- ◆東関東水戸線の開通が起爆剤となり、インフラ整備が加速することを期待する(鹿行)
- ◆業界は変革の時期に来ている。流れに乗って一歩前へ踏み出す年にしたい(未来協)

県民の安全・安心な暮らしを守る

各支部の賀詞交歓会で支部長があいさつ



尾曾 正人 水戸支部長

災害発生時にいち早く対応し、県民の安全・安心な暮らしを守る地方建設業者の社会的使命は年々高まっている。若者が希望を持ち、魅力ある業界となるよう努めてまいりたい。



石津 健光 潮来支部長

我々の業界も働き方をはじめ色々な意味で改革しなければいけない時期に入ってきた。今後とも研鑽を重ね、協力し合いながら、地域の発展のために頑張っていきたい。



瀬谷 實 太田支部長

支部の皆さまと一緒に考えて、担い手不足からの脱却を図りたい。ICT講習会なども開催していく。社会資本整備に努め、社会貢献活動にも寄与してまいる。



細谷 武史 竜ヶ崎支部長

週休2日制の導入などの方策を取らないと若い人材確保が難しい。支部として有効な情報をタイムリーに発信し、各企業の経営安定化を図る情報交換ができる場にしていきたい。



高野 潔 常陸大宮支部長

若年労働者の不足については、支部としても講習会や勉強会を重ね、担い手育成の一助になればと考えている。今後も会員の皆さまのお役に立てる活動を続けてまいりたい。



佐々木 勇 土浦支部長

新しい茨城づくりに良質な社会資本を提供して貢献してまいる。皆さまには地域経済と雇用を支え、安全で安心なまちづくりに尽力し、社会貢献に積極的に取り組まれることを期待する。



大藤 博文 大子支部長

住民の安全安心を守るという我々の使命を果たすため、受注量を確保するとともに、無事故無災害で仕事することが大切。ことし1年皆さんと力を合わせて頑張っていきたい。



柴 勝 筑西支部長

県民の安全安心の確保や労働災害防止に努め、幅広い分野で地域に貢献していただけるようお願いしたい。信頼される建設業界になるよう、全力で支部運営に取り組んでいく。



松山 恒男 高萩支部長

地域の守り手として安全・安心な暮らしを確保するために、我々建設業界が果たす役割は非常に重要であり、責任感を持って貢献していかなければならない。



中川原 勇 常総支部長

建設業には、担い手の確保と育成、生産性の向上、災害時の迅速対応、イメージアップや地域貢献など課題が多い。本年もご協力をお願いしたい。



羽生 義隆 鉾田支部長

高速道路（東関東自動車道水戸線）が通ることで、インフラ整備がさらに加速することを期待する。今後も地域社会貢献活動を実施し、安心安全で地域に必要とされる建設業であるよう努めてまいりたい。



新井 孝 境支部長

建設業は地域に安全安心を届けるのが使命。業界には担い手不足や生産性向上などの課題がある。ICT施工の研修会やBCPの講習などを積極的に行っていきたい。

**建設キャリア
アップシステム**

春から登録受付スタート

平成30年秋運用開始!

本年春から建設キャリアアップシステムの登録受け付けが始まります。本会でも窓口を設置し、皆さまからの受け付けに対応していきます。

このシステムは、技能者一人ひとりの就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場の効率化などにつなげるシステムです。

登録された技能者にはICカードが発行され、以降はそれを使って簡単に就業履歴を蓄積できるようになります。技能者の技能レベルが見えるようになり、技能者を雇用する専門工事業者の評価と受注確保、そして技能者自身の処遇改善につながります。

技能者は、自分の資格や就業履歴を証明できるため、働く現場にかかわらず適正な評価と処遇を受けられます。

一方、事業者は、技能者の就業状況などを容易に確認できるほか、入退場にICカードを使うことにより、現場の入場管理などの効率化が図れます。

このように、技能者、事業者双方にメリットがあるシステムになっており、より多くの方々の積極的な登録が期待されています。

利用料は、技能者のインターネット申請が2500円、郵送、窓口申請が3500円（いずれも10年）。元請・下請事業者は、事業者登録料が資本

建設業の今とこれからをみんなで支える

18-0124 システムの概要編

建設キャリアアップシステム

2018年春登録開始!!
現場で働く技能者の皆さん、事業者の皆さんの積極的な登録をお待ちしています!
2018年秋運用開始!!

業界全体で、技能者一人ひとりの「技能」と「経験」をしっかりと「認め」「育てる」仕組めます。

情報を登録するだけでカードを取得できます!
カードを使ってどの現場でも就業履歴を蓄積できます!

Step.1 情報の登録
技能者: 本人情報、職種、保有資格、社会保険加入状況など
事業者(元請): 業種、資本金、社会保険加入状況など
事業者(下請): 業種、資本金、社会保険加入状況など

Step.2 カードの取得
(デザインはイメージです)

Step.3 現場の登録
現場名、工事内容など

Step.4 就業履歴の蓄積
ビッ!

Step.5 経験の見える化
現場別就業履歴(イメージ)

現場	就業期間	就業履歴数	職種	工事	作業内容
〇〇ビル	2018.10.01 - 2018.12.31	42履歴	〇〇職	〇〇	〇〇
△△工務店	2019.01.01 - 2019.03.31	15履歴	〇〇職	〇〇	〇〇
...
Σ(合計)	2018.08.01 - 2018.08.31	30履歴	〇〇職	〇〇	〇〇
合計		2019履歴			

システムが生み出す効果

技能者の処遇改善
● 経験や技能に応じた処遇の実現
● 自身の技能や就業履歴を簡潔に証明

現場管理の効率化
● 建設業退職金共済制度関係事務の効率化
● 社会保険加入状況等の確認の効率化
● 書類作成業務化・合理化

建設キャリアアップシステム
お問い合わせセンター (8時～17時)

一般財団法人 建設業振興基金
〒105-0001 東京都港区赤坂1-4-1 2階 赤坂1-4-1ビル2階
詳しくは建設キャリアアップシステムのホームページをご覧ください。

金に応じて11段階（5年）、管理者ID利用料が1ID当たり2400円（1年）。

運営主体の（一財）建設業振興基金は、秋の運用開始を目指し、概要を説明するためのA4サイズの資料を作成しました。1月15日からホームページ (<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ccus/>) でPDF版を掲載しています。

建設業労働災害防止協会茨城県支部 平成30年度開催予定表(上半期)

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
3	26	27	月 火	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター	
4	3	4	火 水	小型移動式クレーンの運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	5	6	水 金		茨城県建設業協会潮来支部会館駐車場	(実技) 5、6日のいずれか
	10	11	火 水	玉掛け	鹿島ハイツスポーツプラザ2階	(学科)
	12	13	木 金		鹿島ハイツスポーツプラザ駐車場	(実技) 12、13日のいずれか
	16	17	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	17	18	火 水	玉掛け	建荷協研修センター2階	(学科)
	19	20	木 金		建荷協研修センター	(実技) 19、20日のいずれか
	23		月	足場の特別教育(6時間)	建荷協研修センター2階	
	23	24	月 火	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	24	25	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター2階	(学科)
26	27	木 金	建荷協研修センター		(実技) 26、27日のいずれか	
5	1		火	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	古河市商工会三和事務所	○
	2		水		古河市内	○(実技)
	7	8	月 火	玉掛け	茨城県建設業協会筑西支部会館	(学科)
	9	10	水 木		茨城県トラック協会西地区研修会館駐車場	(実技) 9、10日のいずれか
	14		月	刈払機取扱作業者	建荷協研修センター2階	
	14	15	月 火	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	15	16	火 水	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター2階	(学科)
	17	18	木 金		建荷協研修センター	(実技) 17、18日のいずれか
	21	22	月 火	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター	
	23		水		建荷協研修センター	
	23		水	自由研削用といしの取替え等の業務	建荷協研修センター2階	
	24		木	小型車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	石下建設会館	(学科)
	25		金		旧石下自動車学校	(実技)
	28	29	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	29	30	火 水	小型移動式クレーンの運転	石下建設会館	(学科)
	31	6/1	木 金		旧石下自動車学校	(実技) 5/31、6/1日のいずれか
6	5	6	火 水	玉掛け	古河市商工会三和事務所	○(学科)
	7	8	木 金		古河市商工会三和事務所駐車場	○(実技) 7、8日のいずれか
	11	12	月 火	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
	12	13	火 水	職長・安全衛生責任者	つくば市商工会	○
	14	15	木 金	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館	
	18		月	酸素欠乏・硫化水素危険作業	建荷協研修センター	
	19	20	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	21	22	木 金		建荷協研修センター	(実技) 21、22日のいずれか
	25		月	刈払機取扱作業者	石下建設会館	
	26	27	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
28	29	木 金	鹿島港湾福祉センター		(実技) 28、29日のいずれか	

月	日	曜日	講習名	会場	備考		
7	3	4	火	水	玉掛け(申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○(学科)
	5	6	木	金		旧石下自動車学校	○(実技)5、6日のいずれか
	10	11	火	水	高所作業車の運転	牛久市商工会館	○(学科)
	12	13	木	金		牛久市内	○(実技)12、13日のいずれか
	17	18	火	水	足場作業主任者	古河市商工会三和事務所	○
	19	20	木	金	木造作業主任者	建荷協研修センター	
	23	24	月	火	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会竜ヶ崎支部会館	
	25	26	水	木	小型車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター2階	(26日実技)
	26	27	木	金	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
	30	31	月	火	石綿作業主任者	建荷協研修センター	
31		火		職長・安全衛生責任者能力向上	建荷協研修センター2階		
8	1	2	水	木	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター	
	3		金		刈払機取扱作業者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	6	7	月	火	足場作業主任者	牛久市商工会館	○
	8		水		のり面ロープ高所作業	建荷協研修センター	
	9	10	木	金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	22		水		現場管理者統括管理	建荷協研修センター	
	23	24	木	金	低圧電気取扱業務	建荷協研修センター	
	27	28	月	火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
9	4		火			茨城県建設業協会筑西支部会館	(学科)
	5		水		高所作業車の運転	石下建設会館	(学科)
	6	7	木	金		石下建設会館駐車場	(実技)6、7日のいずれか
	11	12	火	水	小型移動式クレーンの運転 (申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○(学科)
	13	14	木	金		旧石下自動車学校	○(実技)13、14日のいずれか
	18	19	火	水	玉掛け	ひたちなか商工会議所会館	○(学科)
	20	21	木	金		建荷協研修センター	○(実技)20、21日のいずれか
	⑳	㉑	㉒	火	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	26	27	火	水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
28	29	木	金	鹿島港湾福祉センター		(実技)27、28日のいずれか	

注：実技を伴う技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定します。

*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

筑西支部
活動報告

ICT施工の 現場を見学



筑西支部（柴勝支部長）は1月15日、県筑西土木事務所（渡辺功所長）とともに、初のICT施工現場見学会を開催しました。結城市の道路改良工事（主要地方道筑西三和線）の現場で行われ、約50人が参加しました。

担当者がICT施工の概要を説明した後、ドローンの実演やマシンコントロールシステムによるブルドーザーの敷均しを実施。

3次元起工測量で範囲や形状などを正確に把握できる、丁張設置がいらす人員が削減できる、品質が向上する、工期が短縮できる—などのメリットについて学びました。

活力ある建設産業再興を

全国建産連が合同会議

全国建設産業団体連合会（全国建産連）は1月16日、都内の東海大学校友会館で平成30年理事会・協議会合同会議を開催しました。

渡邊勇雄会長は「設立30周年を迎える記念すべき年。活力ある建設産業の再興を実現する。各企業は、経営基盤の強化と労務賃金の改定など、労働環境整備を待たなすで進めなければならない」と力説しました。

来賓の佐藤信秋参議院議員と脇雅史相談役によるあいさつ後、国土交通省建設流通政策審議官の青木由行氏が「今後の建設産業の課題」をテーマに講演。

議事では、29年度事業の中間報告、30年度開催予定の主要行事日程について協議しました。

秋山中で建設体験学習

未来協議会高萩・太田地区会

本会建設未来協議会の高萩・太田地区会は昨年12月13日、高萩市立秋山中学校で建設体験学習を行いました。

同校の2年生62人が重機操作（バックホウ3台）、測量機器を使つての測量、組み立てや塗装などのベンチ製作を体験しました。重機を動かした生徒は「建設現場で見かけて以来興味を持っていた重機を自分で動かすことができ楽しかったです。今日はとても貴重な体験ができました」と声を弾ませていました。



会員の動向

〈代表者変更〉

▽土浦支部

篠崎建設(株) 篠崎 光江 → 篠崎 久美子

ちよつと言



私の、孫が小学校6年・3年の女の子で、地元のスポーツ少年団バスケットチームに所属しております。長女は、2年生から始め、最初はついて行けるかと思いましたが、週2回の練習で4年目の今では、年長者でリーダーとしてチームを纏めたり、後輩の面倒を見たりしており成長した姿を見るとたくましくなったなと思います。

また、県北トレセンにも選ばれ、他市から選抜された子供たちと仲良く一緒に頑張つて練習に励んでいる姿は素晴らしく見えます。

次女は、2年生で入部して2年足らずで身長も小柄ですが、次女なりにチームに溶け込みチームのメンバーと一緒に頑張つております。2人の孫がこのまま素直に成長してくれることを願う今日この頃です。
(O)